



⊕ いわみ  
議会だより

## 9月定例会

- 2 道の駅 整備工事に向かう
- 3 平成25年度決算を認定
- 6 一般質問 7議員が町政を質す<sup>ただ</sup>
- 14 地域おこし協力隊員の声

岩美郡小学校陸上大会  
(9月26日 町民グラウンド)

# 道の駅

# 整備工事に向かう

## 土地・建物購入に3億円

9月定例会を、9月16日から29日まで14日間の会期で開きました。

一般会計補正予算など12議案（追加2議案）を町長提案通り可決しました。

また、平成25年度決算議案は、決算審査特別委員会（芝岡みどり委員長ほか9委員）に付託し、審査しました。

その結果、平成25年度決算を認定しました。



一般会計補正予算の採決の様子

### 討論（いわみ道の駅整備事業費）

## 反対

杉村 宏 議員

道の駅について、町民の多くが応援しようというところまでになっておらず、予算の可否を判断する時期にない。收支見込みも示すことができない状態であり、しっかりした経営体になるまで判断はできない。

## 賛成

田中克美 議員

来客の対象は町民及び北但、鳥取市の住民であり、開設予定場所は、この人たちが訪れやすい。対象の建物、土地を道の駅として活用することは、経費の点から妥当。開設に向けたすべての準備が同時並行で計画通

### 主な議案の概要・質疑

#### 一般会計補正予算

3億4751万円を増額し、予算総額を65億3064万円としました。

#### 歳出の主なもの

##### 財産管理費

475万円増額

ふるさと納税の件数が大幅に増え、贈呈品などを増額する。

## 反対

松井俊明 議員

事業計画があまりにも進行していない。その段階で大金を使うことにイースとは言えない。

## 賛成

柳 正敏 議員

議会は、24年、25年に国交省との協定締結において、現在地していくべしとの意思を示した。それを前提に考えるべきだ。

**質疑**

**問** 土地・建物の購入予算の計上が遅れた要因となった、売り手との交渉経過の説明を求める。

**答** 農協側は当初、建物の簿価を提示し、その後鑑定評価をかけられたが、その価格と町の提示価格にも大きな格差があった。農協に対して、道の駅が

**津村忠彦前議長が総務大臣表彰受賞**

10月3日、東京で「平成26年度市町村長及び市町村議会議長総務大臣表彰式」が行われ、津村忠彦前議長が受賞されました。この表彰は、地方議会議長として12年以上在職し、地方自治の発展に功労があった者に対して、総務大臣が表彰するものです。



**税条例を改正**

町民税の法人税割を5パーセント引き下げ、税率を、これまで適用していた制限税率から標準税率（9・7パーセント）に変更します。また、軽自動車税について、雪上車及び小型特殊自動車を除く軽自動車とは別の区分を設けるとともに、他の軽自動車税と均衡を失しないよう税率の見直しをおこないました。

**平成25年度  
決算審査の状況**

**決算審査の流れ図**

決算審査特別委員会での主な質疑・意見は4ページからご覧ください。



**平成25年度会計別決算額**

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	66億3,738万円	64億8,906万円	1億4,832万円
住宅新築等貸付特別会計	72万円	72万円	0円
代替バス運送事業特別会計	3,218万円	3,218万円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億3,184万円	1億3,165万円	19万円
国民健康保険特別会計	14億9,990万円	14億510万円	9,479万円
集落排水処理事業特別会計	1億1,784万円	1億1,784万円	0円
公共下水道事業特別会計	3億9,119万円	3億9,067万円	52万円
介護保険特別会計	15億1,245万円	14億9,348万円	1,897万円
訪問看護ステーション特別会計	4,151万円	4,151万円	0円
水道事業会計	2億2,911万円	2億959万円	1,952万円
病院事業会計	20億34万円	19億9,408万円	626万円

# 決算審査特別委員会での質疑・意見

## 一般会計

### 歳入

**問** 未収額が1億266万円あるが、年度によって大きな変化があるのか。

**答** 未収額は前年度に比べ465万円減少したが、21年度から1億円を超える額で推移している。また、鳥取地方税滞納整理機構に参加し、効果が上がっている。

**意見** 歳入の大切な自主財源であり、税負担の公平に向けさらに徴収努力をするように。

### ふるさと納税

**問** 寄附金が増加した要因は。

**答** 24年度は63件、186万円であったが、25年度は780件、1718万円と大幅な増加となった。



子どもたちも作品制作に参加（岩美現代美術展）

ている。

要因としては、提供する

特産品の魅力、マスコミによる制度紹介、クレジット納付の開始である。引き続き、積極的に取り組みたい。

### 歳出

#### ■岩美現代美術展

**問** 会場により来場人数にはらつきがある。また、開催会場が分かりにくいのではないか。

**答** 旧病院以外の開催会場の案内や看板、事前P

Rが不足していた。

#### ■住宅用太陽光発電

**問** 導入促進補助金について、今後の課題は。事業を推進するため、県補助の高上げなどの検討状況はどうか。

**答** 25年度で国の補助が終了したことが問題で、本年度の申請は伸び悩んでいる。

県は本年度、県単独の補助は継続することを決めているが、27年度以降については、まだ決定していない。

#### ■支え愛ネットワーク構築事業

**問** 田後地区、網代地区および小田地区をモデル地区として取り組まれているが、早期に全町で取り組む必要がある。進捗状況はどうか。

**答** モデル地区は、それぞれ地域の実情に応じて取り組んでいる。

他の地区では、地域で支え合う機運づくりを進めるため、自治会、民生児童委員など、関係者に福祉座談会を通じて訴えている。

事業期間の5年を目途に、全町でネットワーク構築を進めていきたい。

**意見** 災害時の要援護者支援は重要で、5年と言わず早期に進めるべきだ。

#### ■生活保護

**問** 脱却後、自立した生活が継続できるようにどのような支援をするのか。

**答** 27年度から始まる生活困窮者自立支援法により、支援が必要な人に責任を持って生活支援に取り組むことになる。

#### ■肺炎球菌予防接種

**問** 26年10月から、65歳以上を対象とする定期接種となるが、助成対象の拡大はどうか。

**答** 現行対象年齢は75歳だが、定期接種になり65歳から助成対象となる。70歳、75歳など5歳こと

の当該年度に対象年齢となる人が対象となる。費用助成は1回限りなので、対象年齢になるまで助成を待っていたら大変ことになる。

#### ■観光看板

**問** 駟馳山トンネル付近の観光看板が見えづらいが。

**答** 国土交通省の道路予定地には建てる事ができない。現状では最適な場所であった。

**意見** 道竹城トンネル開通時に再考し、適切な場所があれば移設するように。

#### ■橋の長寿命化

**問** 町道には古い橋が多くあるが、年次的な修繕計画はどうか。

**答** 橋りょう補修工事は、橋りょう長寿命化計画に基づき進めるが、国の補助金の枠内で、緊急性の高い橋から順次整備を進めている。

## 防災

**意見** 近年の突発的な災害対応も含め、自主防災組織の育成、消防団員の確保を図るよう。

**問** 町民の安全・安心な暮らしを担保するため、必要な予算額の確保と、引き続き迅速な対応を行うよう。

大会を支えるボランティアの方々への配慮も不足しているのではないかと。  
**答** 実行委員会で検討していきたい。

## 体育館のLED化

**問** 町民体育館改修事業について、照明のLED化を行ったが、利用者の評価はどうか。

**答** 明るくなったと好評

## 代替バス特別会計

**意見** 町営バスは、近年増加している町外利用者の利便性にも注意を払い、沿線住民の声も聞きながら、サービスの改善に取り組まれない。

**答** 今後の改修時に検討したい。

## 国保特別会計

**問** 今後の在り方についての検討状況と、国民健康保険積立基金の見込みは。

**答** 社会保険などに比べ、加入者の状況などから市町村での運営が厳しいため、保険者を広域化して都道府県単位とする検討がなされている。  
基金については、医療費が増加する中で、保険税を抑えるための基金繰

## 水道事業会計

入は、数年間しか持たない。  
今後、国保の適正な運営のためには、一定程度の基金保有は必要だ。

**問** 恩志水源改良工事により、原水のマンガンは除去することができるようになったが、配水管などに付着したマンガンの対策は。

**答** 恩志水源から浦富配水池までの送水管は、今秋洗浄を行う予定だ。配水管の洗浄は濁りの恐れがあり、すべての配水管布設替えは莫大な経費がかかり、料金の負担につながりかねない。  
配水管移設などの時期にあわせて、配管替えを行っていく方法しかない。

## 病院事業会計

**問** 高齢社会に向けての岩美病院の運営は。

**答** 今後の在宅での支援を考えると、医療・介護・福祉を一体とした取り組みが重要であり、病院が核となって、関係各所の力を結集し、総合力で向かっていかねばならない。

**問** 医師の負担と現状はどうか。

**答** 救急告示病院として平日、休日問わず、24時間救急患者の受け入れ態勢を整えている。このため医師は、当直時には24時間を超えて連続勤務を強いられている。  
3年後には、特別養成枠5人が加わり、1学年当たりの県派遣医師は7人に増えることになる。  
現状では、医師の負担を医療機器の更新で負担を軽減することに努めている。



恩志水源マンガンろ過装置



ボランティアに支えられた浦富海岸マラソン大会

# 情報公開の取り組みの現状と今後の課題はどうか

柳 正敏議員

## 情報発信体制を検討し、情報共有に努める

榎本町長



柳 正敏議員

**柳** 情報公開は本町のまちづくりを進めていく上で重要だ。情報公開の基本的な考えはどうか。

**町長** 協働のまちづくりの根幹は、情報の公開、共有、発信であり、町民と一体感をつくり進める必要がある。安全・安心にかかわる情報は、迅速に的確に発信する。町の施策は、情報の共有が最も重要で、計画段階から情報の共有と公開に取り組んでいく。定住対策、観光振興、1次産業振興は、町外にも発信する。

**柳** 情報公開の取り組みを、どうまちづくりにつなげているか。

**町長** 総合計画策定は、まちづくり委員会を開催し、町民の意見を盛り込んだ。「町長がおじゃまします」での意見交換や水道事故などを、わかりやすくケーブルテレビで説明し、ご理解をいただく取り組みもした。

**柳** 緊急時の放送の不利は、あつてはならない。町ホームページの更新は不満だ。早急な対策を強く指摘する。現在の課題、問題点、今後の進め方はどうか。

**町長** 町の情報発信体制は、庁舎全部を上げて検討させている。新しい

ツールについても積極的に取り組みたい。

**柳** 情報公開の取り組みには、常に点検と評価、改善の意識が必要だ。どうか。

**町長** 計画・実施・評価・改善も取り入れ、情

報発信・情報共有に努める。

## 漁業振興の対策拡充を

柳 正敏議員

## 浜の活力再生プラン作成を急ぐ

榎本町長

**柳** 沿岸漁業をはじめ、本町の基幹産業である水産業は大変厳しい状況だが、どう認識しているか。

**町長** 水産資源の減少は著しい。燃油高騰も続いている。魚価が低迷している。漁業者の高齢化、後継者不足が深刻だ。漁業者の責任に全部負えない部分がある。

**柳** 企業努力だけでは限界がある。持続的安定経営のため、水産振興対策協議会での協議と並行し、関係者との話し合いの枠を広げ、振興策の検討が急務だ。

**町長** 水産振興対策協議会を核にして、各種の団体と意見交換をしてきた。底びき船の船主、船長、仲買人の皆さんとの話し合いにも取り組んできた。町でできる制度づくりや、国や県に働きかけていきたい。

**柳** 県、国と連携し、本県選出の地方創生担当大臣との協議や、提言を強く訴えていただきたい。

**町長** 本町の浜ごとに、浜の活力再生プランを作成中だ。生産者、仲買者も計画策定に参加いただき、国の認定を早急に得たい。

道の駅は、漁業者で価格設定ができる仕組みをめざしている。漁業振興の役割を担わせたい。石破大臣に、力になって欲しいと伝えた。浜の活力再生プランのよう形で、地元で作り上げてきて欲しいと言っておられた。

浜の活力再生プラン作成を急ぎたい。



網代のいか干し（わがまち写真）

## 中山間地域の農業振興の 取り組み状況は

川口耕司議員

## さまざまな制度を活用し、 農業振興を図る

榎本町長



川口耕司議員

**川口** 中山間地域農業の振興、発展のため、町としてどう取り組んでいくのか。

**町長** 本年度は、国の農業施策の大きな制度改革がある。今職員が地元に出向き話し合い、取り組んでいる。

**川口** 新しい制度について、生産者に十分な情報を伝えているか。

**町長** 交付金の使途について、要件の撤廃や改善が加えられている。制度について説明し、話し合

い、取り組んでいく。

**川口** 農業後継者不足の取り組みはどうか。

**町長** 担い手の集積と集落営農という方向は変わっていないが、人任せにするのではなく、たとえば退職後の団塊の世代の皆さんを中心に、集落全体の農地を守る取り組みが、喫緊の課題だ。

**川口** 耕作放棄地の増加についてはどうか。

**町長** 現在は横ばい状態だ。耕作放棄地再生利用交付金制度などを活用し取り組んでいただいている。

**川口** 生産者が意欲を持つことが耕作放棄地の解

消にもつながると思うがどうか。

**町長** 昨年取り組んでいる、人・農地プラン

の中で、集落、地域全体で農地を将来にわたってどう守っていくか、しっかり話し合いをしてもらいたい。



稲刈り作業風景（蒲生地区）

## 新規就農者をどう増やして いくのか

川口耕司議員

## 居住受け入れの体制づくりに 取り組みたい

榎本町長

**川口** 東部地区では、高齢化に伴う認定農業者の減少がある中、新規就農者は近年増加傾向にあるが、町ではどうか。

**町長** 東京、大阪での農業就業説明会には多くの方が参加されるが、就農にまで繋がらないのが実情だ。

本町においては、鳥大卒業の県外者が2人と自家農業の経営規模の拡大が1件ある。

**川口** 担い手の中には、親の農業を引き継ぐ方も一つの捉え方と思うがどうか。

**町長** 新規者だけでなく、担い手という部分では幅広く捉えていくべきだ。

**川口** 農作業には、機械が必要だが補助制度はどうか。

**町長** 就農給付金と県独自の施策がある。

**川口** 県外からの新規就農者に空き家を利用した取り組みができないか。

**町長** 新規参入者は住居、機械、農地確保など初期投資に大きな負担がかかる実情がある。難しい状況があるが、集落の中で居住を受け入れていただく体制づくりにも取り組みたい。

※人・農地プラン  
集落での話し合いにより地域の未来設計をすること

### 介護保険料抑制に一般会計の投入を 拡充せよ

田中克美議員

#### 検討したい

榎本町長



田中克美議員

**田中** 来年度から要支援者の訪問、通所介護が保険給付から外され、町の地域支援事業に変わる。

法改正の中身は、要支援者は介護保険料を納めながら介護保険のサービスを受けられないというふうに思う。

そういう認識でいるか。

**町長** 27年度から第6期ということですが、介護保険制度そのものが大きな改定がなされようとしている。

この改正は制度上では、要支援者の方々について、民間ボランティアや、地

域での支え合いで取り組むという趣旨でなされている。

全体的に介護の制度が15年経過し、介護給付が増大している中で、地域での支え合いということにならざるを得なかったと考える。

**田中** 現在、要支援者として専門的サービスを受けることになっているが、今後新たな要支援者の専門的なサービスは想定せず、基本的に減らしていくこととなるが認識しているか。

**町長** 介護予防の役割も高齢者みずから担うことで要支援者、要介護者を中心に減らすかとの取り組みがなされようとしている。

介護事業者としては、そのような実情も理解しながら取り組みたい。

**田中** 新しい取り組みで介護保険の手続きについて

申請の窓口でチェックリストによる選別を行うことになるが、意図的な選別はしてはならないと思うがどうか。



ふれあい福祉大会

**福祉課長** 申請をされた方の身体の状態、心身、鬱とか、そういう状況を定められた項目に基づき審査を行うものだ。

本人と相談しながら了解のもとで次のステップに進み、再度介護認定の審査を行う。

要支援、要介護の判定をした上で、その範囲の中でサービスを利用していただく手続きとなる。

**田中** 要支援者がヘルパーやデイサービスを希望した場合、どう対応するのか。

**福祉課長** サービスを希望したその方の実態に合わせて、十分な話し合いをして、必要とあれば現行と同じ内容のサービスを町の事業として事業所に委託し提供していく。

**田中** 介護保険料の抑制のために今期実施した一般会計の投入を判断したが6期の保険料設定でも継続、拡充を求める。

**町長** 5期に投入した公

費が400万円余り繰り入れた。

その部分については、新たな公費の投入が計画されており、国と県と町とで手当てすると、町の部分は350万円くらいになると思っている。

**田中** 世帯課税本人非課税の新4段階、新5段階も軽減策の対象にする検討をしようか。

**町長** 今後よく検討したい。

#### その他質問事項

- ・ 地区代表と行政の姿勢について
- ・ 議員と町執行部が国政問題を論ずることについて
- ・ 今後の教育委員会のあり方について



# 道の駅の情報共有が 不十分だ

杉村 宏議員

## すみやかに対応したい

榎本町長



杉村 宏議員

設立協議会の協議について随時追加している。

**杉村** 設立協議会の概要は、いつホームページにアップしたのか、本当の掲載日を知りたい。

**杉村** 町民の間には、道の駅整備に巨費を投じることに、納得感が得られていない。主権者である町民に、道の駅についてどのような情報の共有を図ったのか。

**町長** 10月号の広報、産業建設課のホームページに、道の駅の専用ページを設けている。

**杉村** 6月議会終了後、今日までの間には新たな情報はないのか。

**町長** レストラン再募集、

**杉村** この3か月間の情報共有の努力はどうか。

**町長** 取り組みができていなかった。深く反省している。

**杉村** 疑問や心配に答えるQ&Aを町のホームページに掲載してはどうか。

**町長** 町民がどういった質問・疑問を持っている



道の駅設立協議会

か是非常につかみづらい。寄せられた質問に対しては、持てる情報は速やかに漏らさず出し、対応したい。

**杉村** 町民に収支の見込みを示すことは重要ではないか。

**町長** 協議会の中で再度検討しなければ、公表に値しないとの結論に至っ

た。なるべく早く正確なものを出したい。

**杉村** 3億円を超える補正予算を提案された。巨額の投資に、収支見込みが町民に示されない段階で計上するのはどうか。

**町長** 指摘の状況も含めて理解をいただきながら進めていきたい。

# 網代から桐山城までの稜線を整備し、周遊ルートに

杉村 宏議員

榎本町長

## 難しい状況にある

**杉村** 観光客数の近年の動向は。

設してはどうか。

**商工観光課長** 25年は20万6000人で、町としては1万1000人の増加だ。

**町長** 誰が設置し、誰が管理をするのか、また個人の山もあり、なかなか難しい状況にある。

その他質問事項

・ 沖合底びき網漁業支援について

**杉村** 網代から桐山城までの稜線に、自然歩道を整備し、周遊ルートを開

## 土砂災害の危険個所の把握はしているか 日出嶋香代子議員

### 県の現地調査により把握している

榎本町長



日出嶋香代子議員

流が、発生するであろうと思われる個所の、整備計画は立っているか。

**町長** 毎年度、県と相談し、実施個所を要望している。地元負担も必要となる。

**日出嶋** 危険な個所に住んでいる住民の不安をなくし、安全で安心な生活ができるような対策をするのも、行政の大きな責任だと思う。優先順位があるのか。

**町長** 土砂が崩れてくる心配のあるところが、優先順位が一番高いと思われる。

土砂の危険個所については、受益者負担が伴ってくるので、整備が進まない現状もある。

### 有害鳥獣の対策は

日出嶋香代子議員

### 各自治体とも対策に苦慮している

榎本町長

**日出嶋** 25年度はシカ87頭、イノシシ254頭が捕獲されているが、この有害鳥獣による農業の被害額は、

水稲241アール、

シカ87頭、イノシシ254頭が捕獲されているが、この有害鳥獣による農業の被害額は、

申し出を受けた被害は、水稲241アール、

被害額265万3000円、野菜類が23アール、6万7000円であるが、実際はもっと被害があると認識している。

**日出嶋** 毎年捕獲数が増加しているが、被害を減少させるための対策は。

**町長** 侵入防止の対策と猟友会による捕獲、わなを仕掛けての捕獲など取り組んでいる。

わなの免許を取るための講習を受ける経費の助成、捕獲器の助成などしているが、これらに取り組む新たな人が確保できない。ハンターも人数が増えないなど、各自治体とも苦慮している。

**日出嶋** 捕獲したイノシシなどをジビエ料理として活用するためには、本町にも解体処理施設が必要だと思うが。

**町長** 施設の立地の関係、解体処理など、非常に困難な問題もある。今の段階ではつくる考えはない。

**日出嶋** 局地的短時間集中豪雨で日本各地で被害が出ているが、本町で土砂災害危険個所はどれくらいあるのか。

**町長** 県の現地調査によって危険個所の把握をしている。

土砂災害にも急傾斜地の崩壊危険個所が188ヶ所、土石流危険渓流66ヶ所、地すべりが4ヶ所、土砂災害警戒区域として232ヶ所、特別警戒区域205ヶ所ある。

**日出嶋** 急傾斜地、土石



進行中の治山工事



捕獲したイノシシ

# 子ども・子育て新制度への 対応はどうか

芝岡みどり議員

## 喜びや生きがいを感じられる 支援をしたい

榎本町長



芝岡みどり議員

**芝岡** 国は認定子ども園の普及を進めているが、本町の認定子ども園の見解はどうか。

**町長** もともと認定子ども園は都市部での問題の中で生まれてきたものと承知している。町としての支援を考える上で、保護者の育児の肩代わりするものではなく、子どもと向き合える環境を整え、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができ、支援をしていきたい。

**職員** 施設面の問題を、再三、現場、担当課

に意見を聞いたが、現状の保育所3園で十分だとの意見であるし、またアンケートで意向調査をし、今分析、考察している。

**芝岡** 時代にニーズにあった幼児教育、保育を考えるべきだが、町長の見解はどうか。

**町長** 生後6か月ぐらいは家庭で見てもらいたい。それ以上になつたら、待機とならないよう、安全な体制で受け取らせてもらいたい。

また、多くの保育士が幼稚園教諭資格を持ち、指導をしているが、特別な教育までできないと思っている。

**芝岡** 年度中途に、保護者の希望の保育所に入所

できないことがあるのではないか。

**住民生活課長** 特に低年齢のクラスで、保護者の希望に沿えない事例がある。

**芝岡** 子ども・子育て支援新制度で促進している、ゼロ歳児から2歳児までを対象とする、小規模保育を進めることが、支援につながるかと考えるがどうか。

**町長** 校区にこだわらず子どもが小さい間は、空いている保育所を使ってもらえるよう、町民には理解していただきたい。今、保護者全員からアンケートを取り、子育て会議も行っているのいろいろな相談していきたい。

**町長** 現在、3小学校の児童クラブの状況から見て、対応は可能だ。

**芝岡** 放課後児童支援員の確保はできるか。

**住民生活課長** 1つのクラブの定員40名に対して、

指導員を2名つけるのが国の基準だが、各クラブとも最低3名はつけている。

来年度以降、子どもの数が増えても、確保できる、もしくは確保していくよう努める。

## 薬物乱用防止教育の取り組み 状況はどうか

芝岡みどり議員

## 保健体育の授業で 指導している

寺西教育長

**芝岡** 各地で危険ドラッグによる事故が相次いでいるが、本町では、危険ドラッグが原因による救急搬送がこれまでにあったか。

育の内容と、実施頻度はどうか。

**教育長** 小、中学校とも保健体育の授業の中で指導している。

**教育長** 本町では危険ドラッグによる救急搬送はない。

**芝岡** インターネットなどの普及により、薬物は身近な物になっている。本町での薬物乱用防止教

育は、3年生を中心に、薬物乱用教室を行っている。また、発達段階に従い、喫煙、飲酒などと同じように、学習している。



絵本の読み聞かせの様子（浦富保育所）

# 道の駅を産業の起爆剤にする方策は

松井俊明議員

## 直売、地元食材の活用、新産品 や加工に取り組む

榎本町長



松井俊明議員

**松井** 道の駅の進捗の遅れについて、各団体の結束力と町のリーダーシップが十分でなかったと反省していたが、9月の補正予算計上に当たって、その点はどうだったか。

**町長** 設立協議会は毎月必ず開催し、意識の結集と高揚をはかりながら取り組んでいる。

また、運営会社の形態を検討し、出資及び新会社への参画の確約ができている。

町民の出資については、

口数とか形態などの検討を重ねている。

テナント募集についても、検討し直して再公募にかけている。

オープンについても、協議会で再度協議する。

収支計画については、協議会での指摘もあり、検討していくことになっている。

**松井** 町長は道の駅を一次産業の起爆剤にすると言っているが、そのための具体的な方策はどうか。

**町長** 直売によって農水産物の地域消費を高めたい。レストラン、軽食コーナーでも地元産品を食材に使いたい。品数をそろえるということ、新しい作物など



蒲生ふれあい市

に取り組みきっかけにしたい。また加工にもつなげていきたい。

さらに農漁業の後継者確保にもつながっていくと考えている。

**松井** 町内の農水産物の現状が、道の駅に出品す

るに足りるかどうかが、調べているか。

**町長** 町の作物を一年通して確保することは、現状では困難だ。農協も、いなば管内の作物の出品もありうるという認識で出発している。

町としては、あらためて生産の支援に取り組んでいって、町内産の作物が多く出品される道の駅にしていきたいと話している。

水産物については、直営で販売するが、市場に直接入るかどうかを、真剣に議論しているところだ。

**松井** 市場調査をコンサルタントに相談したいと答弁したが、実行したか。

**町長** いま考えている方針は、トスクや町内の直売施設などでの販売実績を調べ、収支見通しや目標をたてるということ、コンサルタントを頼りにはしない。

**松井** 収支計画を5年先まで説明を求めているが可能か。

**町長** 収支計画は、現時点では示すことはできない。

これまで出した収支計画は見直し、農産物を扱う場所の年間販売額など、

すべて取り寄せながら、再検討している。

**松井** いわみ道の駅は、最初からあの場所ありきという感じを持っているが、いつどこで決定したのか。

**町長** 24年5月の議会常任委員会と全員協議会で、7月4日の国交省との協定締結を前に報告説明し、設立準備会を通して関係者の合意は得てきた。

22年2月10日、J A 鳥取いなば、田後漁協、県漁協網代港支所、商工会、観光協会の5者で町に道の駅設立の要請があった。2月28日、5者で設立準備委員会を組織し、国交省との一体型整備でということになり、トスク周辺で確認した。駒山バイパスと9号線の接合部分であり、最適ということになった。

平成 26 年第 4 回 7 月臨時会提出議案の結果と議員の賛否の状況（平成 26 年 7 月 29 日採決）

提出者	審議結果	議案番号	議案名	議 員 名															
				寺垣智章	杉村宏	宮本純一	川口耕司	田中伸吾	松井俊明	澤治樹	日出嶋香代子	芝岡みどり	田中克美	柳正敏	船木祥一				
町長	同意	45	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成 26 年第 5 回 9 月定例会提出議案の結果と議員の賛否の状況  
 （平成 26 年 9 月 17 日（議案第 46 号～ 55 号）、平成 26 年 9 月 29 日（議案第 56 号～ 発議案 9 号）採決）

提出者	審議結果	議案番号	議案名	議 員 名															
				寺垣智章	杉村宏	宮本純一	川口耕司	田中伸吾	松井俊明	澤治樹	日出嶋香代子	芝岡みどり	田中克美	柳正敏	船木祥一				
町長	可決	46	早期退職希望者の募集及び認定に関する条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	47	新型インフルエンザ等対策本部条例の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	48	税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	49	特別医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	50	福祉事務所設置に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	51	平成26年度一般会計補正予算（第2号）	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	52	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	53	平成26年度集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	54	平成26年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	55	平成26年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	56	平成25年度一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	57	平成25年度住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	58	平成25年度代替バス運送事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	59	平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	60	平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○
町長	認定	61	平成25年度集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	62	平成25年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	63	平成25年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	64	平成25年度訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	65	平成25年度水道事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
町長	認定	66	平成25年度病院事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	67	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	可決	68	浦富地内消雪装置取水施設工事の請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	可決	9	手話言語法(仮称)の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成・×は反対・退は退席・欠は欠席 ※船木議長は本会議の採決に加わらない。

陳 情 審 査 の 結 果

件 名	結 果	賛否の状況	不 採 択 理 由
「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める陳情 米子市角盤町1-116 公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長 荻原 耕三	採 択 (意見書提出)	全会一致	
子ども・子育て支援新制度の実施に関する陳情書 東伯郡湯梨浜町泊711 鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利	不 採 択	全会一致	陳情項目として詳細にわたる子育て施策を列挙している一方で、陳情者が当議会に求めていることは「議会での十分な審議を尽くす」ことである。議会が条例制定などにあたって審議を尽くすことは当然のことであり、審議を尽くすことを議会に陳情することは、陳情趣旨として妥当性を欠くと言わざるを得ない。

# 地域おこし協力隊員の声



間渕 武志さん

岩美町の地域おこし協力隊として、今年6月に大阪市より起任致しました。岩美町には、浦富海岸に度々訪れていました。

根っからの関西人ですが、20代後半より、旅行の添乗員で全国を巡っている間に地方の生活に興味を持ち、舞鶴で小型底びき船に乗船したり、北陸のスキー場で住込みで働くなど大阪に定着することのない生活を送っております。

そんな時、岩美町の新規民宿経営者募集の事を知り、すぐに応募させていただきました。

岩美町には魅力的な自然という観光資源が多数あります。この素材を活用し顧客誘致に努め、岩美町の活性化に頑張っていきたいと思えます。

愛知県小牧市出身。名古屋芸術大学音楽学部音楽創造学科音楽ビジネス・ステージマネジメントコースを平成25年3月に卒業後、同年7月に岩美町地域おこし協力隊として移住。

協力隊では鳥越どんづまりハウス再生支援を担当している。

【今やっていること】平成26年4月26日に鳥越どんづまりハウスがリニューアルオープン。店の運営支援をしながら、町内外のイベントに参加して地域交流をしている。

【岩美町の印象】やっぱり、綺麗な海・優しい人・美味しい食べ物。岩美町で暮らせていることが自慢であり幸せ。

【抱負】一番の目標は任期後も定住！面白いイベントを企画実践していきたい。



岩田 薫さん



田中 泰子さん

田中泰子（旧姓：土田）です。昨年7月に東京から移住し、岩美町観光協会に在籍しながら、新規民宿経営者誘致活動を行っています。

私たちが岩美町に住むのと同じに、岩美町の風景が描かれた「アニメ「Tree」」が放映されたアニメを活用した観光振興にも取り組んできました。

休日は、城原海岸でシュノーケルをしたり、コスモスロードのかかし作りに挑戦させていただいたり、地域の方との交流を通して岩美暮らしを楽しんでいます。

今後の活動としては、岩美町の人の温かさや、景色のいいところに魅かれて県外から移住・定住を希望する人、宿泊施設を経営したいという人のために、空き家や補助金を利用しやすくなるような支援をしてきたいと考えています。

昨年の7月から地域おこし協力隊として大阪より移住しました。任務は、空き民宿の再生活動です。

掃除や片付けから始まり、事業プラン作成や現役の民宿に研修に訪れての接客や料理、仕入れについての勉強などを経て、本年4月1日に「旅人の宿NOTE」という名で開業いたしました。

この名前は、お客様の思い出のノートに書き綴ってもらいたいという思いを込めて名付けました。

夏は浦富海岸の繁忙期ですが、何とか初めての夏、たくさんのお客様をお迎えすることができました。お手紙をくださった方も、何気ない暖かな言葉をかけてくださる方、色々なお客様と民宿を通じてご縁を結ぶことが出来とてもやりがいのあるお仕事だと改めて感じています。

任務後は独立して民宿を続けられるよう今後も経営努力を続けたいと思います。



小林 晶さん

## 編集後記

田んぼもすっかり刈り取りが終わり、朝晩の冷え込みは、季節の移り変わりを感ぜさせます。

台風18号、19号が2週続けて上陸、列島縦断し、広島県での土砂災害、御嶽山噴火と、底知れないエネルギーを示した自然が、追い打ちをかけたかのような秋でした。

被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

容赦のない災害発生を前に、防災について根本から問い直す必要性を痛感します。

(古)

## 議会だより調査特別委員会委員

議長	船木 祥一
副議長	柳 正敏
委員長	田中 克美
副委員長	芝岡みどり
委員	日出嶋香代子
委員	田中 伸吾
委員	川口 耕司
委員	宮本 純一
委員	寺垣 智章